



# GOOD NEWS ときのかえ

# War Cry

9月号

福音版  
2018  
September  
No.2771

二〇一八年 九月一日発行 明治二十八年創刊 福音版・毎月一日発行 広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

## 明日のことまで思い悩むな

寺澤 勇

「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」  
(マタイによる福音書6章34節)

これは聖書の一節で、イエス・キリストが言われた言葉です。いつの時代も、どの国でもどんな人にも思い悩みは尽きません。イエス様は言われます。「だから、言っておく。

自分の命のことで何を食べようか何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと思ひ悩むな。命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。」(同6章25節)

人間が生きていく上で衣食が欠かせないのは当然のことです。人は、生きていくために当然のことだからこそ、衣食について思い悩むのです。衣食、それは、「わたしはどのように生きていくのか」ということに通じていくからです。

また、わたしたちは自分のことだけではなく、愛する人がいればその人のためにも悩みます。家族のため友のために悩むのです。

思い悩みはわたしたちの周りにあふれています。イエス様は「明日のことまで思い悩むな」と言われま

す。「空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもし

ない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。」(同6章26節)

このように言われたイエス様は、このことを信じ、生き抜いた方でした。それはイエス様が、人が生きていくためには、悩みがたくさんあることを十分知っておられたからです。自らも思い悩み、だれよりも人々の悲しみや苦しみに思いを寄せることのおできになる方が、「思い悩むな」と言っておられるのです。

「思い悩むな」と言われるイエス様が、非常な思い悩みを経験されました。イエス様は罪を犯されなかつたにもかかわらず、罪人とされ、弟子に裏切られ、ムチ打たれ、最後には十字架につけられ、殺されてしまいます。

しかし、イエス様は、三日目に復活されることを通して人間の究極の悩みである「死」からの解放をもたらしました。

ずっと西の方ばかりを見て、「自分にはなぜ太陽が昇らないのか」と思い悩む人は、沈んでいく太陽ばかりを見ることになります。

太陽は、東から昇り、西に沈んでいくものですから、西の方角ばかり見ていたのでは、いつまでも昇る太陽を見ることはできません。西に目を向けている人が、昇る太陽を見たいと思うなら、体を百八十度転回し、東を見るほかないのです。

新年に初日の出を見ようと息子と朝早く起き、まだ暗いうちに海岸に向かったことがあります。その海岸には多くの人が、新年最初の日の出を見ようと集まっていました。わたしたちはその場所に初めて行きましたが、おそらく何回か初日の出を見に来ている周りの人たちを見て、きつとあの方向に日が昇るのだろうと見当をつけました。初めての場所では、地元の人たちの様子を見て行動するより安全なことはありません。そして、確かに目当ての方向に日は昇り始めました。

わたしたちを思い悩みから解放してくださるイエス様は、昇る太陽のように人生を明るく照らしてください。救世軍は、一人でも多くの人に日の昇るところを指し示したい、と祈りつつ活動しているのです。

(救世軍士官(伝道者))



# 「自分の力」だけを信じていた私が……



漫画家 太田多門

## 挫折の時期に起きた母の入院

私の祖母は、クリスチャンでした。九十歳近くなっても教会の女性信徒の方々に送り迎えをしていただけ、一人で礼拝に通っているような人でした。

その後、私の母も、イエスを信じて救われ、洗礼を受け、クリスチャンになりました。

自分はどういうと、男子によくある「自分の力だけを信じる」「神頼みは弱者の敗北」を基準にする者でした。ただ、「夢（漫画家になること）に向かって、生きることが人生のすべて」で、他は何も必要としていませんでした。

しかし、漫画家の証明である「連載」を今一歩で獲得できないまま職を辞め、母に養ってもらおうという生活が二年ほど続きました。そんな時のことです。その母が病気で入院してしまいました。その時の私は、

ただ母を見舞うだけの無力な男でした。

そして、毎日のようにお見舞いに来てくださったクリスチャンの方が、「教会で祈りませんか？」と私を誘ってくれました。

不思議なことですが、無力な状態にされ、いわゆるニート状態の私には、それまでもっていた、信仰に対する抵抗の元であった自尊心などとうになくなっており、誘いに対する抵抗もなくなり、毎週日曜日の教会での礼拝に祈りに行くようになりました。母の手術が成功するように祈った祈りは通じ、何の問題もなく、母は退院することができました。

その後、間もなく私の洗礼式がおこなわれ、洗礼を受けました。まるで、ベルトコンベアに乗せられたように、スイスイとクリスチャンになったのでした。

## 留まるところを知らない神様の祝福

「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」（ルカの福音書23章43節・新改訳聖書）

イエス様は私たちの罪のために十字架に架けられました。この言葉は、その瀕死の状態の時に、イエス様の隣で十字架に架けられた罪人にかけてくださった言葉です。その罪人は、罪もないのに十字架に架けられたイエス様に、

「イエスさま、あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください」（同23章42節・新改訳聖書）

と願っていました。聖書の中で、人間が100%天国に行けることが証明された場面だと思っています。罪人でも、悔い改めてイエス様を信じれば、100%天国に行ける、というこのやり取りが、聖書の中で一番救われることを確信できる場面だと思っています。そして、洗礼式の三カ月後、クリスマス近くのことです。後のデイズニー映画

「ベイマックス」の基礎にもなった、アニメ「HEROMAN」の漫画連載が突如決定しました。神様により頼む人生を歩みだした私に、神様からの祝福の流れは留まることを知りませんでした。

かつて血なまぐさいマンガばかり描いていた私が、まさかスタンリー原作の明るい王道少年漫画を描くことになるとは……。祈りの創造的効果はスゴイです！現在は、「ガンダムGのレコンギスタ」というガンダムの現作者である富野由悠季によるアニメ作品の漫画連載をさせていただいています。

心から、聖霊とイエス・キリストの御名を通して神様に感謝いたします。聖書に、

「小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です」（ルカの福音書16章10節・新改訳聖書）

## 「愛のこえ」を一生懸命に書いて

「こういうわけで、いづまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。」（コリント人への手紙第一13章13節・新改訳聖書）

人には「優先順位」がありますが、イエス様は律法よりも何よりも隣人を助ける心である「愛」が最優先だと示してくださいています。人間は、親からの子育てに現れる愛、隣人からの愛、神様の愛など、「愛」がなくてはこの地球では生きていけないと思っています。救世軍の存在すら知らなかった私ですが、今からちょうど十年前、救世軍の活動の様子を調査してまとめた『ボランティア100年やっています 救世軍もつらいよ』（イーグレブ刊・下段参照）の挿し絵の仕事の依頼を受けたことを通して、明治時代から「無償の愛」で活動している救世軍のことを知り、感動しました。人

今、漫画を描く中で降り注ぐアイデアは、すべて聖霊を通して、主が与えてくださった賜物だと日々感謝しています。

間は本能的に生きる動物ではありません。いつまでも、天国までも記録が残るのは愛のおこないだけだと聖書が示しています。現実におこなうには困難を覚え、勇気が要りますが、祈ることによって創造された「愛の子」として、地球のリーダーとして、私も誇らしく生きていきたいです。

間には本能的に生きる動物ではありません。いつまでも、天国までも記録が残るのは愛のおこないだけだと聖書が示しています。現実におこなうには困難を覚え、勇気が要りますが、祈ることによって創造された「愛の子」として、地球のリーダーとして、私も誇らしく生きていきたいです。

漫画家。一九九六年、コミック『ゲームスト』で漫画版「餓狼伝説スベシヤル」連載（ストーリー原作・ベン・ネームTAMON）、二〇〇六年、月例マンガ賞新G Iガンガン杯十二月期 I V UK I イヴキー特別奨励賞受賞、「HEROMAN」（二〇〇九年）、「一年月刊少年ガンガン」（スクウェア・エニックス）全五巻、「ガンダムGのレコンギスタ」（ガンダムエース）（KADOKAWA・角川書店）二〇一四年十月号より連載中。既刊5巻）

## 太田多門挿し絵による『ボランティア100年やっています 救世軍もつらいよ』

作・社会鍋100年調査隊 発行・イーグレブ

2008年、救世軍の社会鍋が100年を迎えることを記念するいくつかの行事がおこなわれました。それを受けて、社会鍋の100年にわたる働きを調査したいと考えた有志が「社会鍋100年調査隊」を編成しました。ボランティアという言葉が日本で用いられる前から人々のニーズに応じておこなわれた救世軍の活動が外部の方の目線で、多くの取材のもとに編集されています。



↑『ボランティア100年やっています 救世軍もつらいよ』に描かれた、街頭生活者に食事を提供する働き「街頭給食」のシーン。山室軍平夫妻の絵など、歴史的な絵は、救世軍山室軍平記念資料館に取材して描いた。

←日本人として最初の救世軍士官（伝道者）となった山室軍平。鉄道に乗って寸暇を惜しんで各地を訪問した。駅の構内で汽車を待っている時間が30分でもあったなら、駅にいた人々を相手に講演をしていたという逸話がある。

↓山室軍平の妻機恵子は、救世軍の廃娼運動を通して遊郭から逃れてきた女性を保護し、裁縫や作法など、日常生活の基本的なことも教えた。



## 9月22日は、日本における救世軍123周年記念日です

※イーグレブ様のご協力によりまして、『ときのこえ』または「救世軍ホームページ」を見た、と一言添えて、救世軍出版供給部にご注文された方に、『ボランティア100年やっています 救世軍もつらいよ』を定価1,500円（税別）のところ、特別価格750円（税別、送料別）で販売いたします。

キトリ

ご住所

ご氏名

私の近くの救世軍を紹介してください。

キリスト教についてもつと知りたいです。

『ときのこえ』の購読を申し込みたいです。

この部分を封書か葉書に貼り、裏面の下の救世軍にお送りください。

創立者 ウィリアム・ブース 大将 プライアン・ペドル (万国本営 英国ロンドン)

日本司令官 ケネス・メイナ (救世軍本営 東京都千代田区)

http://www.salvationarmy.or.jp



### 世界をみつめて

#### 〈日本〉西日本豪雨の被災地支援

6月末から西日本の各地で大雨が続き、7月7日(土)、8日(日)には、大きな被害が出ました。7月22日現在、警察庁のまとめでは、死者は15の府県で224人。うち6人は、自治体が今回の災害との関連を確認中です。

●広島県呉地区—この地区にある救世軍の施設(保育所、児童養護施設等)も、断水や寸断された道路の影響を受けましたが、建物の被害は免れ、現在は、児童家庭支援センター「明日葉」の吉田有センター長が、呉市天応の呉災害ボランティアセンターでボランティアコーディネーターの任を負い、地域の方々と共に支援活動を継続しています。

●広島県—7月11日(水)断水が続いていた尾道市に飲料水ペットボトル500ml 528本及び、飲料水ペットボトル2L 30本を準備し、届けました。

地域住民を訪ね、28世帯に飲料水を提供。また、尾道市桜町の土砂災害被災地にて尾道市社会福祉協議会サポートセンターにも飲料水を届けました。



●岡山県—(株)クラレ様から水用プラ缶 20L タンク 24 個の献品をいただきました。その後、倉敷社会福祉協議会事務局と面談し、岡山小隊からタンク式高圧洗浄機 3台を届けました。また、被害の大きい広島県呉市及び岡山市での継続支援のため、土嚢袋を合計 4,000 枚手配しました。

7月11日(水)、岡山市総社市役所に、義援金と、トイレット・ペーパーや箱ティッシュ、飲み物を届けました。

これらは、隣接する倉敷市のためにも物資が用いられるとのことでした。

●兵庫県—7月10日(火)土砂崩れの起きた神戸市灘区篠原台を訪ね、被災された方々で自宅に戻れない10世帯へ、タオル、ウェットティッシュ、飲み物のセットを配布しました。

●支援の輪—東京、大阪、広島など各地で臨時の社会鍋が立てられ、多くの



各地から届いた支援品を積み替える(呉地区)

支援をいただきました。また、いつも社会鍋に立たせていただいている銀座松屋様より、7月16、23日の二度にわたり飲料水を、計590箱(550ml 24本入り)ご寄贈いただきました。

早速呉地区の施設や地域の支援活動のために用いることができました。松屋様より、「水を被災地に使っていただいていたです」との言葉をいただきました。(写真下)



## 救世軍とは? What is the Salvation Army?

心は神に 手は人に Heart to God, Hand to Man

救世軍はイギリスに国際本部があるプロテスタントのキリスト教会です。創立者はイギリスのメソジスト教会の牧師だったウィリアム・ブース。1865年、東ロンドンのスラム街で、どのような境遇の人もイエス・キリストを信じるならば救われる、と伝道を始め、飢えている人には食べ物、家のない人には宿泊場所を、仕事のない人には職業の斡旋を、アルコールにおぼれる人や搾取されている女性たちには、回復・更生のための施設を提供し、物心両面からの救いを目指しました。やがてこの働きを推し進めるために、軍隊流の組織を取り入れ、「The Salvation Army」と名づけました。



日本では1895(明治28)年に働きが始まりました。「救世軍」という訳語を初めて用いたのは、後に東京市長となる尾崎行雄(1858—1954年)。彼が新潟新聞の主筆になったころ(1879年)であったと伝えられています。

今から123年前の9月4日、当時33歳のイギリス人士官(伝道者)エドワード・ライトをリーダーとする一行が来日。正式に救世軍の活動を開始する集會が開かれた9月22日が、日本における救世軍の開設記念日となりました。

日本人で最初に士官になった山室軍平は、社会問題に取り組み、廃娼運動や結核療養所設立などに力を尽くして、キリスト教界だけでなく、明治~昭和初期の社会福祉史にもその名を残しました。



現在、日本の救世軍では、43の小隊と、19の社会福祉施設、2つの病院(ホスピス併設)を通して、働きを進めています。また、街頭生活者支援、災害被災者に対する長期にわたる支援をおこなっています。

9月には、「感謝祭」として、これら救世軍の活動への支援をお願いする募金活動を展開しています。

#### (取扱支部)

救世軍は、統一協会、エホリマセン、モルモン教ではお取り扱いできません。これらの問題ではお悩みの場合は、右救世軍にご相談ください。

#### 発行日及び定価

発行日 福音版・毎月一日発行

定価 福音版・毎月十五日発行除く七月

福音版・一部 四〇〇円

クリスマス特集号(十一月一日号) 一〇〇円

振替 〇〇二八〇五四四〇〇

印刷所 救世軍

印刷人 代表者ケネス・メイナ

編集人 寺澤 真由子

〒101-0051 東京都千代田区

電話 東京(03)三三七〇八八一

発行所 救世軍本営

印刷所 図書印刷株式会社